

## 慶應義塾大学大学院 文学研究科 修士課程

### 仏文学専攻

#### 3つのポリシー

##### 【ディプロマ・ポリシー】

仏文学専攻では、課程修了時に学生が身につけるべき能力として以下のものを定め、学則に従って修了要件を満たし、修士論文審査に合格した学生についてはこの能力を身につけた者と認め、修士（文学）の学位を与える。

1. 仏語学研究、仏文学研究ならびに仏語圏文学研究の分野において、研究領域全般に関する専門知識を身につけ、外国語（仏語その他）を使用して専門的なリサーチを展開し、その成果を仏語および他の言語で発表できる。
2. 仏語学研究、仏文学研究ならびに仏語圏文学研究、あるいは関連分野の研究を内容として日本語あるいは仏語で修士論文を執筆して審査に合格し、さらに、修士論文のテーマに関連する領域については包括的で深い専門知識を有し、その領域の研究に貢献をすることができる。
3. 仏語を通じて異文化の歴史的、文化的特性を理解し、他者と交流を持ち、重要な問題を認識し、それを解決していくための議論や実践に資するリサーチ能力、プレゼンテーション能力を身につけていることで、高度な異文化リテラシーを備えた社会人、研究者、教育者として社会に貢献できる。

##### 【カリキュラム・ポリシー】

仏文学専攻では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として以下のカリキュラムを編成している。

1. 仏語学、仏文学の領域において、仏語学、中世～現代の仏文学および仏語圏文学を対象とした講義演習科目群を設置して、研究を展開するために必要な専門知識、リサーチ能力、一次資料分析能力、思考力および議論構成力を養成する。またこれらの科目の一部を仏語で開講することで、仏語によるプレゼンテーション能力を養う。
2. 修士論文の執筆を可能とするため、指定された指導教員が中心となって個別論文指導を行い、研究テーマについての知識を深めるとともに、高度なリサーチ能力および論述力を養う。また、専攻全体の修士論文中間報告会等の開催を通じて、複数の教員から指導を受ける機会を提供する。
3. 異なる環境を通じて高度な異文化リテラシーを身につけるために、文学研究科や慶

應義塾大学国際センターによって提供される留学プログラム、さらには学内外の各種留学制度などを活用した、フランスおよび仏語圏地域の大学院への単位取得や専門的なディプロマ取得を目的とした留学を推奨する。

4. 慶應義塾の「特別招聘講師」制度を活用して、海外（主にフランス）から研究者を招聘し講義を担当してもらうことで、海外の研究者との交流を培う機会とする。

## 【アドミッション・ポリシー】

仏文学専攻では、次のような資質を持つ学生を求めている。

1. 卒業論文執筆や専門科目の履修等を通じて自身の専門領域についての理解を深め、仏語学、仏文学および仏語圏文学の領域全般についての基礎知識を有している。
2. 大学院において、何をどのような方法で研究したいのかという研究計画について自ら考え、日本語ならびに仏語でまとめることができる。
3. 仏語の一次資料および二次資料を正確かつ批判的に読むことができる基礎的な読解力、学術的内容を仏語で論じることができる基礎的なアカデミックなライティングの能力を身につけている。
4. 研究資料を講読するための基礎的な複数外国語の能力を有している。
5. 修士課程修了後の社会人、研究者、教育者としてのキャリアについて、積極的に考えている。